



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブ
ライフ・クラブ
ナルク
NALC 横浜
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-24-6
TEL 045-719-5001
FAX 045-719-5002
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp
http://www.nalc-hama.net/

ナルク横浜 第28回定時総会開催

実行委員長 増原 恵輔

3年ぶりの集会方式による「第28回定時総会」が、6月5日(日)12時から開催され53名が出席(委任状提出235名)、本部神野会長も出席されました。また今回も会員作成の「書」や「絵」「写真」「切り絵」「パッチワーク」「彫刻」などの作品が展示され総会参加者が鑑賞、また会員作成の「吊るし雛」も会場を彩りました。



1. 定時総会あらまし

- (1) ナルク本部 神野会長ご挨拶(新たに、70歳未満でリーダー研修会参加者有志によるプロジェクトチームを立ち上げる、など)のあと、福江事務局長から昨年度の一般報告があり、会員数の減少、時間預託点数の大幅減少など厳しい現況が報告されました。
- (2) 次いで議案の審議に入り、活動計画案(会員拡大)については会員から「成果が上がっていない。やるべきことをやっていないのではないか」との厳しい意見が出されました。これに対して代表などから「本年度は新たに運営委員からなるプロジェクトチームを組んで取り組む」など意見表明がありました。

また別の会員から「交流会活動の盛り上げ」について、「役員だけが努力しても限度がある。一般会員も積極的に参画すべきでは」との意見が出されました。貴重なご意見をいただいたのちに採決に入り全員一致で全議案が採択されました

2. 第二部

- ・第二部では、まず、内田会員ご夫妻が所属される「AGRIギタークラブ」の演奏を約1時間楽しみました。演奏曲目は「太陽がいっぱい」など懐かしい映画音楽と「真っ赤な太陽」や「下町の太陽」など。アンコール曲が「情熱大陸」。7名の演奏者の皆さんの見事なアンサンブルと、演奏にマッチした映像のスクリーン投影に会員の皆さん、うっとりしていました。(会員の間から思わず「歌」を口ずさむ光景も)。また演奏メンバーのお孫さん(高校3年のお嬢さん)のフルートとのコラボ演奏もあり、大好評でした。
- ・第二部の締めくくりは「ららの会」の皆さんによる合唱。コロナ禍で十分な練習がままならなかった中、「アカペラ」を含む数々の合唱曲を、見事なハーモニーで楽しませていただきました。

5月末会員数：425名，(男性：176，女性：249)

ブロック	会員数	預託時間点数		奉仕時間	
		4月	5月	4月	5月
北	146	90	102	57	47
湘南	82	27	38	43	50
西	141	77	48	96	136
中央	56	26	21	16	64
合計	425	220	209	212	297

令和4年度各ブロックの取り組み

北ブロック

1. 全会員の状況確認
*手配り以外の会員については電話や訪問によるお元気コールを実施して交流会参加を勧めます。
2. コロナ禍前の活動施設訪問
*ブロック長交代の挨拶・情報収集。
*活動再開時の対応可能準備に入り、活動者の継続確認と新活動者を探します。
3. 会員同士の繋がり交流
毎月の交流会の出席者がある程度固定しているため、新たに地域別のミニ交流会を企画し実行します。
*歩こう会・各種クラブ活動等の画像入り記事を掲載した「北ブロックかわら版」を発行して会員間の交流に関心を持ってもらいます。
*このような交流を通じて、**新規会員10名獲得**を目標に紹介・加入への協力を訴えます。

西ブロック

ボランティア活動が制限されるような状況が2022年度も続くのか、先の見通しはまだ分かりませんが厳しい環境のなかであっても、皆さんと一緒に努力してまいります。

1. 昨年目標であった「参加して良かった」と言える交流会を目指します。
2. 交流会参加者を増やす活動として、ハイブリッド交流会の実現をめざします。
3. 会員増加については、あらゆる機会を通じて取り組みます。
4. 会員の皆さんのニーズに応える活動としてアンケート調査を実施し、会員同士の助け合い活動や会員との結びつきを図る活動を行います。
5. 地域貢献活動として「いずみ野駅前草取り」活動を引き続き実施していきます。



湘南ブロック

昨年総会以降の実績は

- ① 年間活動計画ではコロナによる7月の七夕交流会と2月の講演会中止を除き、全てを計画通りやりきることが出来ました。
- ② 3名の新たな会員をお迎えし新たな活力が加わりました。
- ③ 相模川流域協議会とコラボして相模川クリーンキャンペーン活動に参加、次年度以降も継続するつもりです。
- ④ 会員の支え合い活動では、今年もコロナにより老人施設支援が出来ませんでした。が、会員間の支え合いは延べ318人と拡大しました。

本年は、①会員同士で顔の見える活動の促進 ②会員増強を進める活動 ③地域での社会奉仕活動の拡大④会員のお困りごとを支援する助け合い活動の更なる促進に力強く取り組みます

中央ブロック

1. 昨年度の活動計画の結果は以下の通りです。
 - (1) 会員増強：2名の加入がありました。
 - (2) 交流会の活発化：毎回15名程度の参加がありました
 - (3) ハイブリッド交流会実施：概ね達成できました。
 - (4) ブロック独自の表彰制度：実施済み。今後も継続します
2. 本年度の活動計画
昨年度計画のうち、(3)(4)は概ね定着しましたので本年は以下の課題に取り組みます。
 - (1) 会員増強：特に保土ヶ谷区を重点地区として取り組みます。
 - (2) 交流会の活発化：会員が参加したくなる交流会を工夫します。
 - (3) 3年後(令和7年度以降)のブロック体制刷新を目指し、本年度は方向性を検討いたします。

新入会員のひとこと

湘南ブロック 吉田 敬子

今年3月、平塚市のボランティアマッチング交流会に参加しました。湘南ブロック長さんの「特別な技能・芸がなくてもOK。平均年齢75歳」の言葉に背中を押していただき入会しました。

これまで湘南ブロックの3つの交流会に参加、新しい体験をすることでとても刺激を受けています。少しずつ楽しい出会いも始まりました。ご縁を大切にしながら元気に活動を続けてゆけたら…とっております。どうぞよろしくお願いたします。

湘南ブロック 佐々木 あとみ

岐阜県土岐市でナルクに入会。本年4月末に平塚市に転入しました。途中失明者です。

土岐拠点では故・中島國人さんに大変お世話になりました。私と当時90歳の母が数十キロ離れて一人暮らしの母の実妹宅を訪問。一日がかりの送迎を「命にかかわる事だもの」と快くお引き受けくださいました。湘南ブロックは活動が活発なご様子で、私も参加希望です。宜しくお願致します。ペコリ。



ナルクデーの活動

☆西ブロック

いずみ野駅前の花壇と歩道脇の垣根の草取りをはじめ、2年が過ぎました。最初の頃は今までの手入れが良くなかったため、全体を綺麗に整えるのに3か月もかかることもありました。南横浜拠点や会員外の人など、常時13名前後の会員が参加しています。

今年のナルクデーは5月23日、道行く人に目立つようにナルクのノボリを立て、約2時間実施しました。通行する人から「ご苦労様です」の声や、「自治会でやっているのですか」などの声も聞かれました。

☆湘南ブロック

海洋におけるプラスチックごみは地球の生態系を狂わせ、私達人間にも魚介類を介して汚染が進んでいると、世界的に大きな問題として提起されています。

5月15日(日)、海洋に流入するマイクロプラスチックごみを減らそうと、相模川流域協議会とナルクがコラボして、湘南ブロック会員9名参加のもと「相模川クリーンキャンペーン」活動を行いました。当日は子供連れの家族も含め約50名で河川・海岸清掃を行い大量のプラごみが集められました。

「ほどがや花フェスタ」に出展しました

中央ブロックの年間最大イベント「ほどがや花フェスタ」が5月21日(土)、3年ぶりに開催されブロックとして出店しました。当日は時折強い雨が降るあいにくの天候でしたが、多くの家族連れでにぎわいました。

今回は坂間、石井両会員が丹精込めて育てた約13種類の花の苗130ポットを出品、うち110ポットを販売し大きな成果を上げました。これは、両会員の事前の周到な準備と、当日の販売担当会員5名のお客に対する丁寧な説明の賜物と考えます。

当日は中央ブロックの他の会員に加えて吉川代表はじめ他のブロックの会員も来場、お買上げいただくなどナルク横浜をあげた支援も得ました。

次回交流会で今回の振り返りを行い、「ブロック収益」と「ブロック会員の結束」の観点から次年度に備えたいと思います。

5月歩こう会 「横須賀三笠公園と猿島散策」

西ブロック 内田 成孝

さわやかな5月「歩こう会」は「海」にやってきた。

「日本の歴史公園100選」に選ばれている三笠公園、そこに鎮座している記念艦艇「三笠」の見学と、間近に浮かぶ神秘的無人島「猿島」散策である。横須賀中央駅には定時10:00にロマンを求めて17名が集合した。駅の観光案内所で早速情報収集とパンフレットの入手である。ところが、ガーンと一発の衝撃、猿島へのフェリーは「潮の関係で午前中は中止、午後の13:30が始発です」とのことである。島に渡って浜辺で手弁当を楽しむつもりが、急遽計画変更、「戦艦三笠」をゆっくり見学することにして公園に向かった。艦内にはビデオ、展示物、シミュレーターと日露戦争(日本海海戦)の再現を展示している。時間的余裕で説明を聞きながら歴史の勉強不足を痛感しつつ、艦内をゆっくりと巡回出来た。昼食は広い公園内の中、海に向かった「野外劇場」が恰好の場所選ばれた。舞台袖に一列に腰掛け、おやつを配っている様は、まさに巣立ったばかりのツバメの子が電線一列に、親鳥が必死に餌を与えている。そんな光景がよぎってきた。平和だ!



ゆっくり昼食を楽しんで、いざ猿島へと、ところが乗り場の光景に仰天! 人人で長蛇の列である。本日最初の出発なので納得。一便では乗り切れず、臨時便増発を確認し、みんなを落ち着かせ、待ちの体制へと…。ようやく臨時便で猿島へ、10分の船旅だが海の風が心地よい。「大自然と刻まれた歴史のあとが時空を超えて共存する幻想の島」へ上陸、かつては東京湾を守る要として砲台と弾薬庫のある要塞の島、目と身体で歴史遺産を感じ取った「歩こう会」であった。

— 歩こう会 —

7月 施設見学
コロナ禍で制限が多いため中止

8月 夏季休会



問合せ先はいずれも

北 沼沢 新太郎 042-733-8528
湘南 吉川 武 0463-58-6030

五月雨や野良ではおぼる握り飯
郭公や黒四ダムの爆音か
今日だけは自戒解放いちごパフェ
五月雨や苔むす森の守り神
夏草や煮人の島の弾薬庫

昌佳子
えつ子
洋子
ちか子
ね

まるごとが遊びの島よ海月寄す
さみだるる陰画のやうに川流れ
夕焼けまで時間つぶしの古本屋

茂茂茂

ハマっ子広場
俳句同好会
講師



編集後記

3年ぶりの集会方式による定時総会が開催され、久しぶりに多くの会員が一堂に会し本部の神野会長も参加され意義ある総会となりました。中央ブロックでもブロック最大のイベントである「ほどがや花フェスタ」がこれも3年ぶりに開催され盛会でした。また一部施設でもボランティア受け入れ再開の動きも始まりました。このように長く続いた新型コロナによる活動制限が解除されつつあります。そろそろ我々も活動再開に向けて一歩踏み出しましょう。

増原 恵輔